

セアカゴケグモにご注意ください！

セアカゴケグモ (特定外来生物)

体長約1センチで主にオーストラリアや東南アジアに生息している外来生物です。1995年に国内(大阪府)で初めて発見され、福岡市でも2007年に発見されました。攻撃性はありませんが、かまれると神経毒による全身の痛みや発熱、吐き気などの症状が現れることがあります。体の弱いお年寄りや幼児がかまれると、時に重篤な症状が現れる場合があります。



＜メスグモと卵のう＞



＜セアカゴケグモ メス、オス＞
メスは、体長約1cm、全体に黒く、背面に赤色の帯状、腹面にも赤色模様があります。(※毒があるのはメスのみです。)

市内で発見されている主な場所



- ・日当たりがよく、暖かいところで適当な隙間があるところに巣を張ります。
- ・巣の特徴は、不規則で、細く粘り気のある糸が特徴です。巣は地表面の近くで多く発見されています。

気を付けること

- ・清掃や花壇の手入れなど、屋外で作業するときは**手袋**を着用しましょう。
- ・庭やベランダに**置きっぱなしのサンダルや長靴、巻ホース**等に気を付けてください。
- ・日ごろから、クモの巣を作らせないように、屋外に放置している物の整理整頓が大事です。



※(参考)間違えやすいクモ

ジロロウグモ(国内在来種)

もし、セアカゴケグモをみつけたら

素手でつかまない！ さわらない！

- ・素手で捕まえたり、うっかり触ったりしない限り、咬まれることはありません。

＜駆除方法＞

- ・クモは市販の家庭用殺虫剤(ピレスロイド系)で駆除できます。
※特定外来生物は誰もが自由に駆除(殺処分)できますが、生きたまま他の場所に運ぶことはできません。(外来生物法)
- ・卵のう(卵が入っている袋)は、殺虫剤が効かないので、袋に入れて踏みつぶします。
巣や卵のうが足元に付着しないように注意してください。

咬まれたときは

- ・咬まれたところを温水や石けん水で洗い、できるだけ早く医療機関を受診してください。
- ・咬んだクモの特定ができるよう、医療機関に殺したクモを持参してください。

※福岡市ではセアカゴケグモの抗毒素血清を市内の下記の2病院に配備しています。

- 福岡市民病院
福岡市博多区吉塚本町13-1 電話 092-632-1111
- 福岡市立こども病院・感染症センター
福岡市中央区唐人町二丁目5-1 電話 092-713-3111

※咬まれた時の症状

- ・咬まれた時、針で刺されたような痛みがあります、しだいに咬まれた箇所のまわりが腫れて赤くなります。
- ・経過は様々ですが、そのまま治まることもあれば、まれに重篤化する恐れもあります。
- ・小児や高齢者は症状が重くなることがありますので、特に注意が必要です。

セアカゴケグモに関するお問い合わせ

セアカゴケグモを発見した場合は、最寄りの事務部、又は、各区の生活環境課にお知らせください。

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 大学事務部総務担当係 | |
| 本部 総務部総務課 | 電話 092-642-2107 |
| 貝塚地区事務部総務課 | 電話 092-642-2352 |
| 比較社会文化学府等事務部 庶務係 | 電話 092-802-5762 |
| 理学部等事務部 庶務係 | 電話 092-642-2521 |
| 医歯学部等事務部 総務課 | 電話 092-642-6236 |
| 工学部等事務部 総務課 | 電話 092-802-2708 |
| 芸術工学部事務部 総務課 | 電話 092-553-4408 |
| 筑紫地区事務部 庶務課 | 電話 092-583-7502 |
| 農学部事務部 庶務係 | 電話 092-642-2802 |
| 病院事務部 総務課 | 電話 092-642-5505 |
| 伊都共通事務部 総務調整課 | 電話 092-802-2434 |
| または | |
| 福岡市 東区生活環境課 | 電話 092-645-1061 |
| 南区生活環境課 | 電話 092-559-5101 |
| 早良区生活環境課 | 電話 092-833-4343 |
| 西区生活環境課 | 電話 092-895-7050 |
| 春日市、糸島市等 筑紫保健福祉環境事務所地域環境課 | 電話 092-513-5611 |